

## 令和7年度第1回林業体験報告書

林業体験担当 前田 康弘

今回の林業体験は獣害対策です。

研修場所は朽木麻生の森林公園くつきの森です。

この公園の一部に、私が所属する高島林業研究会(高島林研)が管理する試験林があります。

最初に、試験林まで行く途中に最近植栽した造林地にて集合です。

今回の参加者は滋賀会6名 高島森林組合 4名 県西部南部森林整備事務所高島支所 3名です。今回の研修は高島林研の実践講座も兼ねております。

挨拶、自己紹介の後、苗木の食害対策を高島市森林組合の清原さんに食害防止方法と現在の状況を聞く事にしました。



\* 食害防止の方法は以下の4とおりです。

- ① シカヨケクンを挟む
- ② 水切りネットをかぶせる
- ③ テープを巻く
- ④ 竹串で苗木を囲む

以上を試した結果は・・・ほぼ全て鹿による食害を受けたとの事です。

今後は、他の方法も考えて、食害防止に取り組むとの事でした。

これから伐採、造林を進めるには、どうすれば効果的な対策ができるのか？

苗木に直接対策する方法、鹿の侵入を防ぐため対象地を囲む方法、鹿の頭数を減らすなど・・・改めて獣害対策の難しさを認識しました。

(これはシカヨケくんです。)



\* そして試験林に移動しました。

この試験林は昭和 53 年に高島林研の先輩方が植栽されたものです。

当時は造林ブームに沸く時代で、木材価格も右肩上がりでした。

生育状況、耐雪害状況、材の強度の試験を実施し、2 回程雪害を受けましたが、ほぼ順調に生育し、今の林分を形成しております。

\* 今年も熊ハギの被害を受けた木が見受けられる。

5 月連休明けに下見に来た時には、無かったのに・・・ここ 1 ヶ月の内に被害に遭っている。

他の所でも 6 月初めて頃の被害を確認した。

\* テープ巻の始まり

熊ハギは昭和 40 年代始め頃には朽木地域においてもごく稀に確認される程度であった。

(芦生を中心に京都、福井、滋賀の一部で確認)

その後、拡大造林が実施され、県内では湖北、湖西で熊ハギの被害が多く確認されるようになった。

その頃、京大芦生演習林においても被害が多く発生したが、ツルの巻いた木は被害が少ない事が分かり、人為的にテープを巻く事で防止する発想になった。

\* 予め、事前に林分調査をしております。

(この林分の平均と思われる所を 2ヶ所 0.02ha を設定し、その中の本数、樹高、直径を計る)

結果は ・平均樹高 21.6m ・平均胸高直径 20.8cm ・生立本数 1750 本/ha

・要間伐本数 450 本/ha でした。(ピンクテープで印を付けている、テープ巻はしない)

\* テープ巻きのデモンストレーション

森林組合の甲斐さんに巻き方、手順を教えていただく。

・高さは、地際から 1.5m 位。

・テープの端を挟み込んで、上から下に間隔 20cm 位で巻き付けていく。

地際は根元までしっかり巻く。

そして、交差するように下から上に巻き上げていき、最後にテープの端同士を結び付ける。

\* テープ巻作業の開始

各自、作業を開始する。

なかなか甲斐さんのように早く、綺麗にいきませんが、巻く本数を重ねる程に要領を得て、それなりに巻けるようになった。

巻いた本数は 1 人 3 本位～10 数本で、午前中の作業は終了する。

\* 昼食は近くの「やまね館」を使わせていただいた。















午後からは、試験林の谷筋を登り、12品種の外見的特徴はあるのか、生育に差はあるのか等見る。

そして、木陰にてしばし、林業談義をする。

話題提供・・・私がこの試験林の所有者と仮定して、今、伐採して売却したなら私の収益はいくらか？

山元立木価格(諸経費を差し引いて山林所有者の収益となる金額、m3 当たりで表す)

全国平均価格(百円以下切り捨て)

S40年 スギ 9,300円 ヒノキ 10,600円

S55年 スギ 22,700円 ヒノキ 42,900円

R5年 スギ 4,300円 ヒノキ 8,800円

見ていただいたとおりです・・・今の価格がS40年の価格より安い物は他にあるでしょうか。

1m3の目安・・・直径24cm × 長さ4m × 約4本

この試験林の木ならば3～4本が必要と思われます。

以上、暑い中でしたが無事に終わることができました。

また、次回もよろしくお願いします。

☆参加者のお一人、高橋会長に、感想をお願いしましたので、紹介させていただきます。

\*\*\*\*\* 林業体験感想 \*\*\*\*\*

高橋 優

林業体験の実施ありがとうございました。

今回の林業体験研修は、獣害対策に焦点を当てた面白い企画でした。

先ず、植樹した苗木の獣害防止の4つの方法；

- ①シカヨケクン による梢保護
- ②水切りネット による苗木全体の保護
- ③梢に白テープ巻き
- ④竹支柱 による苗木全体の保護

を森林組合の方から教えていただきました。

朽木の森に移動して、クマ剥ぎや鹿の食害を防止する杉の幹にテープを捲く作業を実地訓練。急斜面の杉林に参加のみなさんが悪戦苦闘されていましたが、林業従事者の苦勞が分かりました。

テープ巻きの後に、杉の様々な品種を試験的に植えられている植林地を見学させてもらいました。

以上、バラエティに富んだ体験研修で非常に勉強になりました。